津久見市議会だより

第52号
平成28年
3月定例会
編集発行／大分県津久見市議会
☎0972-82-9518

題字は津久見高校書道部です

◉ 平成28年度当初予算 …… P2
◉ 第1回臨時会・3月定例会 …… P4
◉ 市政を問う（一般質問） …… P6
◉ 議会報告会・意見交換会等 …… P12
◉ 議員定数等調査特別委員会・議会政策研究会 … P14
◉ 議会の主な動き …… P15
◉ 渡辺一平選手オリンピック出場!!・つくみキッズ … P16

白蓮幼稚園・保育園

00万円、10.3%の減

新消防庁舎

平成28年度予算

平成28年度の一般会計当初予算は、新たに策定する第五次津久見市総合計画の将来像として掲げる『誇りと自信に満ちたまち「津久見」』を実現するため、「健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち（保健・医療・福祉分野）」など6つの目標をテーマに予算編成をしており、総額で97億2,200万円、前年度当初予算比11億1,900万円10・3%減で7年ぶりの減額予算となっています。これは、学校施設耐震化事業や消防施設等整備事業、し尿等前処理施設等整備事業等の大型事業が終了したことが原因となっています。

歳入予算の概要

歳入予算では、自主財源の根幹である市税は、21億8,343万5千円で、前年度比1,991万6千円0・9%の減少と見込まれており、地方消費税交付金は、個人消費の回復を見込み2,390万円7・2%の増、分担金及び負担金は、保育園の認定子ども園への移行等により2,717万9千円26・8%の減となっています。

寄附金については、ふるさと納税制度の広報等の体制強化を図ることから2,300万円1146・6%の増を見込んでいます。

市債は、先に述べたように大型事業の終了により11億3,870万円49・2%の減となっています。

歳出予算の概要

歳出予算では、児童、高齢者、障がい者など福祉事業で扶助費の増により「民生費」が34億7,155万6千円と支出全体の35・7%を占めています。

道路整備、市営住宅事業、公園維持管理、空き家対策等の「土木費」では10・8%10億4,969万5千円、健康増進、環境保全、ごみ処理等の「衛生費」は、8・3%8億548万7千円、「教育費」は、12・2%11億8,930万3千円、元金・利子を支払う「公債費」は11・6%の11億3,000万8千円などが主な歳出予算です。義務的経費である人件費・扶助費・公債費の割合が高く、依然として厳しい財政運営で、事業の重点的かつ効率的な実施が求められます。

主な平成28年度新規事業

◎消防ポンプ自動車整備購入事業
7,211万7千円
◎避難地・避難路整備事業
3,800万円
◎空き家対策事業
1,228万3千円
◎婚活サポート事業
105万2千円
◎まちづくり推進事業補助金
100万円
◎予防接種助成事業（一部新規）
3,300万円
◎健康診査事業（一部新規）
2,100万円

主な継続及び重点事業

◎道路・橋りょう改良事業
1億3,624万8千円
◎市民会館リニューアル事業
5億6,900万円
◎市道徳浦松崎線バイパス事業
1億7,080万円
◎防災拠点再生可能エネルギー導入事業
7,391万2千円
◎定住促進対策事業
3,112万7千円

一般会計97億2,2

誇りと自信に満ちたまち「津久見」を実現するための六つの基本目標

①健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち
②郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち
③世界に誇る地域資源で活力を創造するまち
④多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち
⑤美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち
⑥未来の津久見を共に考え行動するまち

平成28年度当初予算

(%)

会計名		予算額	前年度比
一般会計		97億2,200万円	△10.3
特別会計	国民健康保険事業	32億4,328万円	△ 0.5
	都市計画土地区画整理事業	1億 961万4千円	△ 9.9
	奨学資金事業	955万1千円	△ 1.2
	簡易水道布設事業	4,693万1千円	3.5
	公共下水道事業	9億 227万円	△ 2.8
	後期高齢者医療	2億9,298万円	2.2
	介護保険事業	26億3,186万5千円	△ 1.2
小計		72億3,649万1千円	△ 1.1
合計		169億5,849万1千円	△ 6.6

水道事業会計

(%)

会計名	予算額	前年度比
収益的収入	3億6,488万5千円	△ 3.5
収益的支出	3億3,137万4千円	△ 0.3
資本的収入	2,811万6千円	34.4
資本的支出	1億8,993万3千円	△ 5.0

収益的収入・収益的支出とは…

当該年度における事業の経営活動にともない発生すると予定されるすべての収益と、それに対応するすべての費用

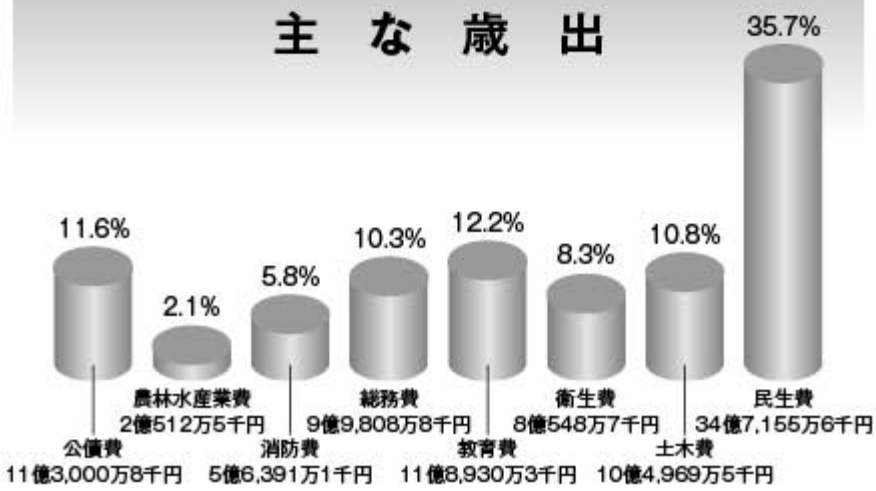
資本的収入・資本的支出とは…

経営活動の維持発展を図るため将来の経営活動に備えて行う建設改良、現在の経営活動に用いている施設に係わる企業債の償還金等

第二中学校

主な歳入

主な歳出



第1回(2月)臨時会

●津久見市職員の給与に関する条例の一部改正について
●平成27年度一般会計予算の補正について

結　全会一致で可決されました。

3月定例会

委員会に付託された議案
総務常任委員会

●津久見市の附属機関の委員等で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

説　行政不服審査会設置や家庭児童相談員の処遇改善、学校医、学校歯科医の報酬改正のため、条例を改正するものです。

結　全会一致で可決されました。

●津久見市消防本部及び消防署設置条例の一部改正について

説　消防庁舎の新築移転に伴う用語の改正等を行うものです。

結　全会一致で可決されました。

●地方公務員法の一部を改正する法律に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
●津久見市行政不服審査会条例の制定について
●津久見市防災行政無線施設条例の制定について
●津久見市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について
●津久見市手数料条例の一部改正について
●津久見市火災予防条例の一部改正について
●津久見市特殊勤務手当条例等の一部改正について
●津久見市税条例の一部改正について
●津久見市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
●議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
●証明書等の交付等に係る事務の委託に関する協議について
●連携中枢都市圏形成に係る連携協約の協議について
●津久見市過疎地域自立促進計画の策定について
●津久見市辺地総合整備計画の策定について（落ノ浦）
●津久見市辺地総合整備計画の変更について（畑）

結　全会一致で可決されました。

○伊方原子力発電所の再稼働の中止を求める意見書（案）

結　継続審査となりました。

○沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書（案）

結　賛成少数で否決されました。

委員会に付託された議案
社会文教建設常任委員会

●津久見市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

説　大規模改修が行われている市民会館の会議室等の間取りが変更となり、現在の料金表が使用できなくなるため、所要の改正を行うものです。

結　全会一致で可決されました。

●学校教育法等の一部を改正する法律に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
●津久見市国民健康保険税条例の一部改正について
●津久見市一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
●字の区域の変更について（岩屋町）

結　全会一致で可決されました。

●市道路線の認定について（鳩浦久保泊線、網代荒代線）

説　現在農道となっているこの2路線を、市道として登録するためのものです。

結　全会一致で認定されました。

○奨学金制度の充実等を求める

意見書（案）

結 賛成少数で否決されました。

委員会に付託された議案 予算常任委員会

●平成27年度一般会計予算の補正について
●平成28年度一般会計予算について
●平成28年度国民健康保険事業特別会計予算について
●平成28年度介護保険事業特別会計予算について

結 一部の議員から反対意見があり、採決の結果、賛成多数で原案通り可決しました。

※次の5件の平成27年度各特別会計の補正予算については全会一致で可決されました。

●国民健康保険事業
●奨学資金事業
●簡易水道布設事業
●公共下水道事業
●介護保険事業

※次の6件の平成28年度各特別会計等の予算については全会一致で可決されました。

●津久見都市計画土地区画整理事業
●奨学資金事業
●簡易水道布設事業
●公共下水道事業
●後期高齢者医療
●水道事業

委員会に付託された議案 総合計画特別委員会

●津久見市総合計画の策定について

説 平成28年から今後10年間の市の施策を決める最上位計画を議決するものです。

結 一部の議員から反対討論及び賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で原案通り可決されました。

その他の議案

●津久見市公平委員会委員の選任の同意について

説 公平委員会委員の任期満了に伴い、新たに上野寛氏を選任するものです。

結 全会一致で同意されました。

公平委員会委員
上野　寛氏

●津久見市副市長の選任の同意について

説 副市長に市総務課長の飯沼克行氏を選任するものです。

結 全会一致で同意されました。

副市長
飯沼 克行氏

主な議案の賛否表

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。○:賛成 ●:反対 棄:棄権

	井戸川幸弘	黒木章三	高野至	塩崎雄司	谷本義則	吉良康道	黒田浩之	森脇千恵美	宮本和壽	小手川初生	高野幹也	小谷栄作	知念豊秀	安藤康生
平成27年度一般会計予算の補正について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	●	○
平成28年度一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	●	○
平成28年度国民健康保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	●	○
平成28年度介護保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	●	○
津久見市総合計画の策定について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	●	○
沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書(案)	●	●	●	●	○	●	／	○	●	●	●	●	○	●
奨学金制度の充実等を求める意見書(案)	●	●	●	●	○	●	／	○	●	●	●	●	○	●

市政を問う

一般質問
9議員が登壇
傍聴者延べ29名

3月定例会の一般質問は3月8日(火)9日(水)に行われ、市政全般について一般質問をしました。
なお、紙面の都合により、全てを掲載できませんので、ご了承ください。

一般質問が変わる!!「一問一答方式」始まる!!

一般質問の方式については、これまで「一回目は一括、二回目以降一問一答方式」により行われてきましたが、津久見市議会基本条例第9条に「議会の会議における質疑応答は、市政上の論点及び争点を明確にするため、一問一答の方式で行うことができる。」とあることから、3月定例会より「一回目は一括、二回目以降一問一答方式」または「一問一答方式」の選択ができるようになりました。これにより一般質問がより活発になるとともに、傍聴の方にもより聞いていてわかりやすいものとなります。

今回は、塩﨑雄司議員、髙野幹也議員、吉良康道議員が一問一答方式で質問しました。

新市長の「誇りと自信に満ちた津久見」の実現について

塩﨑　雄司

一般質問をする塩﨑雄司議員

問 津久見は、「みかん」「セメント」「高校野球」のまちとして多くの市民が誇りと自信を持っていましたが、今誇れるものとは何ですか。みかん農産物、「高校野球」、「扇子踊り」伝統芸能、スポーツ「県内一周駅伝大会」や「県民体育大会」、「循環型社会」等々、いずれも寂しい状況です。そんな中、新市長の考える津久見の強み、「誇りと自信」とは何ですか。

答 津久見市民のアイデンティティとしての誇りです。何か素晴らしいものがあるから誇るというものではありません。津久見市民として生まれ、育ち、生活している事、津久見を故郷として持っている事、それ自体を肯定する事、津久見人としてプライドを持ち、誇り高く生活していく事だと思います。その事に気づくきっかけとして、津久見の素晴らしい自然や産業、伝統など今一度見つめなおし、素晴らしさに気づいて頂けたらとの思いから、色々な施策を行なっていきます。

「人口減少対策」すぐに始める婚活事業案について

問 今後、「少子化」により、人口の取り合いとなるなか「婚活事業」を早急に実施しない自治体は生き残りが厳しいとの声さえもある。地域の自治体にしか出来ない役割があると思います。津久見の将来を考え、絵に描いたモチに終わらず、確実に一組でも幸せな結婚をし、津久見に定住してもらいたいという事から、今後の意欲的な活動について

市政を問う

一般質問
9議員が登壇
傍聴者延べ29名

3月定例会の一般質問は3月8日(火)9日(水)に行われ、市政全般について一般質問をしました。
なお、紙面の都合により、全てを掲載できませんので、ご了承ください。

つくみん公園について

森脇　千恵美

聞きます。

答 まずは、実行する事が重要だと考えております。限られた市の職員体制であっても早急な事業実施が可能となるように、公募型の事業を行うとしています。これにより、民間の団体から広く柔軟な企画やアイデアが集まると共に、地域の人や企業など多くの市民に参加して頂ける事となります。

問 **公園の設備及び管理**

答 市では、安全で快適に使用してもらうため、さまざまな維持管理の業務委託を行っています。ステージ前とお祭り広場の草刈り年9回、トイレ清掃は週2、3回、他の場所は、アダプトプログラムにより、清掃等に多くの団体が協力しています。遊具の点検は、ゴールデンウィーク、春、夏、冬休み前に行ない安全確保に努めています。壊れている時計は、県が来年度のできるだけ早い時期に整備する予定と聞いています。

つくみん公園

問 **コンテナハウスの活用**

答 つくみん公園での賑わい拠点づくりとして、公園来訪者の憩いの場、情報発信を目的とした「コンテナ2(つく)9(く)3(み)号」をふるさと振興祭で披露し、土日、祝日を中心にワークショップメンバーが交代で対応し、公園来訪者の動向調査や観光案内を行ってきました。28年度からは、ワークショップメンバーを中心としたまちづくり組織が主体となり、運営を行う予定で、条件が整えば、平日の対応を含め、より充実していきます。

問 **子どもの貧困について**

答 津久見市の現状・対策

自治体別は算出していないが、大人が一人世帯の子どもの貧困率が高いとの結果が出ており、そのため、母子、父子自立支援員、生活困窮者相談員等を配置、相談支援や相談者が利用可能な制度の説明など関係機関と連携しながら、取り組んでいます。

問 **フッ化物洗口について**

答 12月の調査後の実施率は。

35パーセントです。

問 28年度の予算は

答 当初予算で薬剤・専用ボトル・消毒液等で39万3千円です。

名所・旧跡の保護、伝統芸能・文化の継承について

黒木　章三

問 津久見市には、国、県、市指定の名所・旧跡の文化財や伝統芸能がある。近年の人口減少による後継者不足や指導者の高齢化により存続が困難になりつつあるが、文化財の保護や伝統芸能の継承について、市の取り組み状況と現状は。

答 津久見市には、国指定の天然記念物1件、県指定の天然記念物1件、無形民俗文化財2件、市指定は天然記念物5件、有形文化財11件、無形民俗文化財1件、史跡1件の合計22件があり、その中で「尾崎小みかん先祖木」は柑橘類としては我が国最古の木として、特に注意を払ってきました。また、これに限らず個人所有や区所有の文化財は、ボランティア団体の協力もあり、

獅子舞

市政を問う

一般質問
9議員が登壇
傍聴者延べ29名

3月定例会の一般質問は3月8日(火)9日(水)に行われ、市政全般について一般質問をしました。
なお、紙面の都合により、全てを掲載できませんので、ご了承ください。

常に意識を持って大切に取り扱っています。

継承についての取り組みについては、県の無形民俗文化財である「堅浦霜月祭り芸能」をはじめ、伝統芸能保持団体は16団体まで把握しています。

人口及び子どもの減少にともなう後継者不足の問題、また指導者の高齢化により、古くからその地区に伝わってきた伝統芸能が後世に伝えられなくなっていることは、全国的な問題になっています。津久見市においても維持できなくなっている団体もあり、その姿を記録保存しているケースもあります。神社仏閣に由来する地域の神楽や神輿は、本来は氏子である地区民が守り、受け継ぐものですが、伝統芸能という側面から後世に伝えることは大切なことだと考えています。そのため区長をはじめ関係者と話をし協力していきたいと考えています。名所・旧跡等については、看板の書き換えや設置をすることで、由来を後世に伝えることができ、有効な手段と考えています。

地方創生、総合戦略について

谷本 義則

谷本 義則議員

問 国の地方創生関連予算で27年度補正と28年度予算で新たな交付金制度が出来ましたが津久見市の対応をお聞きします。

答 「まち・ひと・しごと創生津久見市総合戦略」を昨年10月に策定しました。27年度補正には、「観光による地方創生戦略構築事業」を国に申請中です。内容は、津久見市観光戦略会議を設置するとともに専門家や実績のある人などを呼び既存資源の磨きや津久見ならではの景観や地域資源を活用した新たな観光や特産品の開発など津久見観光の目指すべき姿を構築するものです。

また、県との連携で、自社製品の開発・事業化に取り組み、生産性の向上に必要な設備導入などを支援する「ものづくり産業地域連携推進事業」も申請中です。28年度の「地方創生推進交付金」の申請は、県などと協議し活用する準備をしていきます。

障がい者差別解消法について

問 4月1日から施行される障がい者差別解消法について市の対応をお聞きします。

答 この法律は、国や地方公共団体及び民間事業者による「障がいを理由とする差別」を禁止することです。そして差別を解消するための取り組みでは、国は「基本方針」を作成する。地方公共団体は、分野ごとに障がいを理由とする差別の具体的内容を示す「対応要領・対応指針」を作成することとなっています。今後は、市のホームページやチラシの回覧などで市民の皆さんや、事業者にこの法律を周知していきます。市役所の取り組みとしては、職員に法の主旨や障がい者への対応の仕方などを研修会を通して周知を行なっていきます。

他に各区への街灯の電気代の補助や、区への未加入者への市の対策などを質問しました。

観光振興と受け入れ体制の強化について

小谷 栄作

一般質問をする小谷栄作議員

問 観光について、特に桜まつり期間中“うみ畑”が農林水産課支援のもと営業されましたが、今後どのように考えていますか。

答 今回は、実証実験という

市政を問う

一般質問
9議員が登壇
傍聴者延べ29名

3月定例会の一般質問は3月8日(火)9日(水)に行われ、市政全般について一般質問をしました。
なお、紙面の都合により、全てを掲載できませんので、ご了承ください。

こと、四浦活性化のための一つのモデルの立ち上げということで、県も市も直接的な支援もいたしましたが、今後は、自らの力のみで取り組んでいかなくてはなりません。そのような立ち上げには、今後とも、行政としてできる限りの支援をしていきたいと考えています。

問 第1次産業の振興について。

答 市の農産物の特産といえば、やはりミカンで、これからの目標は、いいものをもっと高く売っていくことです。「津久見みかん」の基準は、いまのところ明確なものはなく、みなさんの心の中にそれぞれあるだけです。今後は、玉のサイズ、見た目、平均糖度、酸度、食味など基準を設定し、毎年クリアした農家には、「特選津久見みかん」と「認定生産者」のラベルを新パッケージに表示するなどブランド化を図ります。ふるさと納税の返礼品やネット販売等、販売の方法も検討していきたいと考えています。

水産物についてですが、津アジに油が乗る5月頃に旬入り宣言し、期間中津久見湾でとれたアジを生き締めと神経抜きで処理し、JF職員の目利きで選別したものを新たなブランド魚として流通させて行きたいと考えています。

問 地域おこし協力隊についてどのように考えていますか。

答 現在1名、平成28年度に新たに2名採用する予定です。今回募集の2名は、魅力発信、特産品開発、観光振興、移住支援と定住促進のいずれかに関する活動を行うことで、行政とは異なる新たな視点による地域資源の発見やその活用による産業の活性化などを目的としています。

地域の魅力発信は、SNSなどの活用推進とテレビ・新聞などマスメディアの活用を考えています。

ふるさと納税の取り組みに関して

井戸川 幸弘

問 ふるさと納税のこれまでの寄附額と来年の寄附目標額について。

答 平成27年度寄附額は1月末時点で2,055万6千円であり、来年度の目標金額については平成27年度の金額に更なる上積みを図っていきたいです。

問 ふるさと納税の返礼品の種類を増やすことについて。

答 ふるさと納税の制度を活用して、津久見の特産品を全国にアピールし、1次産業を中心とした産業の活性化を図っていきたいと考えております。

津久見市における定住対策について

問 津久見市内における定住促進事業として住宅関連の助成制度について。

答 本市におきましては更なる定住促進を推進するため、平成28年度から「移住者居住支援事業」につきましては対象者の枠を広げ「新婚・子育て世帯応援家賃補助金」につきましては補助期間の限度を拡充するなど制度の充実を図る予定です。

津久見市における観光施策について

問 今後の津久見市における

あいうべ体操

市政を問う

一般質問
9議員が登壇
傍聴者延べ29名

3月定例会の一般質問は3月8日(火)9日(水)に行われ、市政全般について一般質問をしました。
なお、紙面の都合により、全てを掲載できませんので、ご了承ください。

Wi-Fi環境の整備について。

答 街なか賑わい創出など、観光客及び市民の利便性向上のためのWi-Fi環境整備は必要と認識しています。

津久見市における医療費削減の取り組みについて

問 **インフルエンザ対策として最近注目されている「あいうべ体操」の普及推進について。**

答 現状では大分県が進めている「元気アップ体操（口腔編）」の普及に取り組んでいる所です。

この他に川野新市長の今後の姿勢について質問しました。

津久見港青江地区および中心市街地の土地利用の計画について

髙野幹也

問 津久見港青江地区は平成14年に完成し10年以上が経過しているが、市役所予定地を含め空き地が多いのが現状です。また中心市街地も空き地が増えてきました。**そのような現状から早期に土地利用について計画を策定する必要があると思うが、市の考えは。**

答 津久見港埋立地の土地活用や中心市街地のまちづくりは、市政の大きな検討課題であると認識しており、市役所庁舎の建設も含め十分に検討していかなければならないと考えています。

これまで庁内での調査研究などが進められてきましたが、市有地や民有地の有効活用、中心商店街の振興、「うみえーる」の活性化、防災対策など複合的な課題が山積しており、それらを総合的に検証し、効果的な土地利用の計画、中心市街地活性化へと導くためには、庁内だけの議論では限界があると感じています。

今後は庁内での調査研究を継続するとともに、専門家・学識経験者による検討、市民意見の集約など、色々な角度から十分な検討を重ねていくことが重要と考えています。

土曜寺子屋つくみ塾（千怒小）

土曜寺子屋つくみ塾（津久見小）

土曜寺子屋つくみ塾について

問 **今年度の参加者の実績と、来年度に向けた改善策は。**

答 土曜寺子屋つくみ塾は、子どもたちの学習習慣の定着と基礎学力の向上に地域ぐるみで取り組むことを目的として、平成27年度からスタートし、参加児童は4校で112人、参加講師は合計で43人となっています。

この取り組みは講師の数が増えれば子どもの習熟度に合わせた指導ができるため、来年度は講師の増に向け、PTAや企業など幅広く声かけしていきます。

人口減少問題について

知念豊秀

知念 豊秀議員

問 **川野市長の選挙公約と第5次総合計画の将来人口1万6千人について。**

答 第5次総合計画の1万6千人と「人口減少を食い止める」とする選挙公約にずれがあるとは思っていません。

問 **津久見市の人口流出対策は。**

市政を問う

一般質問
9議員が登壇
傍聴者延べ29名

3月定例会の一般質問は3月8日(火)9日(水)に行われ、市政全般について一般質問をしました。
なお、紙面の都合により、全てを掲載できませんので、ご了承ください。

答 10代から40代の世代が、「進学や就職」「結婚」「住宅の購入」といったタイミングで転出していると推察されます。対策として、特に若い世代に対する施策に注力すべきと考えます。平成28年度には、移住者居住支援事業や市外から転入した新婚世帯や子育て世帯に対する家賃補助事業など、制度の拡充を図る予定です。

問 妊娠・出産にかかる費用について。

答 特定不妊治療に対し最大30万円、人工授精については最大5万円、今年度から「不育症治療費助成事業」として1回あたり30万円、出産費用として国保条例に基づく40万円4千円と加算額1万6千円、合計42万円になります。

問 保育料の負担軽減について。

答 年収360万円以下の世帯では、第1子の年齢に関係なく第2子は半額になる予定です。「にこにこ保育」では年収に関係なく3歳未満の第2子の保育料は半額とする予定です。

教育環境について

問 エアコン設置について。

答 学力向上のためにも大変重要であり、設置に向けて取り組んでいきます。空気清浄機等については計画していません。

保戸島からの救急搬送について

問 搬送船の船長はご高齢とのことですが対策は。

答 まずは、地元で協議して頂きたいと考えています。

他市との交流事業について

吉良 康道

問 他市との交流事業について。

答 交流は観光を目的としたもの、地域特性を生かした地域間の交流、スポーツや教育を通じた交流など、様々なものがあります。現在津久見市ではスポーツ交流をはじめ、広域観光連携や交流、イベントにおける海と山の交流など、多くの交流事業を行ってきました。今後は住民間の自発的交流による地域間交流が行われるようになれば、地域資源を活かした地域の活性化が生まれるものと期待しています。

今年度は、中部振興局が中心となって、県中部地域と愛媛県南予地域との地域間交流促進事業など実施する予定で、津久見市も参加する予定です。地域間交流は大変重要な事であり、提携の機運が高まれば、考えていきたいと思います。

一般質問をする吉良康道議員

問 海岸保全施設整備について。

答 赤江漁港海岸保全施設については、赤崎区長から堤防延長の要望書が提出されており、現地状況の確認もしています。今の段階では、国の補助要件にも合致しませんが、今月改定される予定の大分県海岸保全計画では、国の国土強靭化の基本方針に基づき、想定される津波について新しい基準での見直しが予定されており、改定されれば、今後、その基準に基づき漁港海岸保全施設の老朽化調査及び老朽化対策計画を実施することとなります。市では、今年度から29年度までに漁港についての「水産基盤施設機能保全計画」を策定し、それに基づき漁港の機能保全を順次行っていく予定です。その中で、津久見市全域で優先順位もつけながらの事業実施になると思いますが。赤崎地域は、現在でも高潮の被害がありますので、応急的な対策については、地元と協議しながら検討していきます。

「議会報告会」を開催しました。

- 開催日時 …… 平成28年 2 月26日（金）18：30～20：00
- 開催場所 …… 「長目公民館」「市民ふれあい交流センター」
- 開催内容 …… 報告と意見交換会
- 参加者数 …… 25名

1 議会からの報告

(1) **総務常任委員会**（市消防庁舎防災拠点施設の概要、行政視察の報告）

(2) **社会文教建設常任委員会**（市民会館改修工事の説明、奨学資金制度について等）

(3) **議会政策研究会**（研究テーマ「地産地消の推進について」、「つくみ朝市」の開催について）

(4) **議会活性化委員会**（議会活性化委員会の調査研究について）

2 「意見交換会」でのご質問ご意見（抜粋）

○ 市道徳浦松崎線バイパス工事の完成予定はいつですか。

○ 継続審議となっている議案について、議員は、どのように会議や勉強をしていますか。

○ ケーブルテレビが長目地区に来る予定はありますか。

○ 現在長目地区で計画中の治山工事の予定について。

○ 新消防庁舎での避難受け入れ態勢について。

アンケートで寄せられたご意見

- 津久見に住宅を建て、子どもを育てる方法を教えてほしい。
- 市民、一人ひとりが街づくりを考えるような、進め方をしてほしい。
- 言葉だけではなく、行動にだしてほしい。市民に情報の開示を。
- 議員みずから地区に出かけて、皆と意見交換することはいい事と思います。皆さん一人ひとりの考えを聞く場所は大事だと思います。
- 女性の参加が少ない、もう少し呼びかけの工夫をしたらと思います。
- 議員の熱意を感じた。津久見市のために頑張ってほしい。
- 今後も、同様な「報告会」を開き、市民の声を生で聞き活用してほしい。

津久見地区 区長等との意見交換会

市民ふれあい交流センター
2月23日

津久見地区６区の区長さん、役員さん合わせて29名が参加し、
市議会議員（13名）と意見交換を行いました。

「意見交換会」での主な意見

- 人口減少対策
- 地区からの要望書を出しても進まないことについて
- 「花いっぱい運動」の活動について
- 学力向上対策
- その他（砂防ダム、街灯、区助成金、民生委員の活動費、若者の集まり等）

商工会議所青年部との懇談会

商工会議所　2月25日

青年部会員18名、市議会議員10名が出席し、4つのグループに
分かれて懇談、意見交換しました。

議員定数等調査特別委員会
(論点整理に関する小委員会)

議員定数等調査特別委員会（論点整理に関する小委員会）では２月１日に由布市への視察、また翌２日には福岡市での研修セミナー（議員定数について、議員報酬について）への出席を行いました。

今後、議員定数等を検討していく中で、しっかりと活かしていきたいと思います。

議会政策研究会

議会政策研究会では「地産地消の推進について」の調査･研究の一環として３月 20 日に「第１回つくみ朝市」を開催しました。当日農産物等の出品にご協力をいただいた皆さん、また市内外から会場にお越し頂いた多くの皆さん、ありがとうございました。

なお下記の日程で「第２回つくみ朝市」の開催を予定していますので多くの皆さんのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

「第2回 つくみ朝市」

日時 5月29日(日) 9時～
(小雨決行)

場所 コンテナ293(つくみ)号
(つくみん公園内)

※出品者を募集しています。

お問い合わせ
津久見市議会事務局（☎82-9518）

議会報告会開催予定

5月26日㈭
- 警固屋区民会館 18:30～
- 仙水公民館 19:00～

5月27日㈮ 18:30～
- 市民ふれあい交流センター
- 青江区公民館

議会からの報告や皆さんとの意見交換を行います。
多くの方のご参加をお待ちしています。

議会の主な動き（1月～3月）

議員出席・参加行事及び会議

1月

4日　新年互礼会
9日　消防団出初式
10日　成人式
18日　知事を囲む自治運営懇話会

消防団出初式

2月

岐阜経済大学硬式野球部キャンプ

8日　第1回臨時会
9日　全国市議会議長会、評議員会（～10日）
12日　大分県後期高齢者医療広域連合議会
　　全員協議会
17日　県内一周駅伝大会結団式
18日　大分県市議会議長会理事会
23日　津久見地区区長等との意見交換会
25日　岐阜経済大学硬式野球部キャンプ激励
　　商工青年部との意見交換会
26日　議会報告会
　　（市民ふれあい交流センター・長目公民館）

3月

1日　津久見高校卒業証書授与式
2日　3月定例会　開会
5日　中学校卒業証書授与式
8日　3月定例会一般質問（～9日）
15日　総合計画特別委員会
18日　第二中学校管理教室棟落成式
20日　つくみ朝市
22日　3月定例会　閉会
23日　津久見、青江、堅徳、千怒小学校
　　卒業証書授与式
24日　保戸島小学校卒業証書授与式
30日　消防本部・消防署開庁式

青江小学校卒業式

その他、総務常任委員会、社会文教建設常任委員会、予算常任委員会（2回）議会運営委員会（4回）全員協議会（3回）議会協議会（2回）議会活性化委員会（7回）議会政策研究会（9回）議会広報委員会（2回）議会だより編集部会（7回）議会報告会実行部会、議員定数等調査特別委員会小委員会（5回）など開催しました。

おめでとう！渡辺一平選手

五輪の夢かなえる

競泳のリオデジャネイロ五輪代表選考を兼ねた日本選手権が、東京辰巳国際水泳場で行われ、男子200メートル平泳ぎ決勝で渡辺一平選手が派遣標準記録を上回る2分9秒45で2位となり、初の五輪切符を手にした。

渡辺　一平（わたなべ いっぺい）

2014年南京ユース五輪男子200メートル平泳ぎ金メダル。
津久見第一中学校・佐伯鶴城高校出身、早稲田大学2年。193cm 76kg 19才。

つくみキッズ

白蓮幼稚園・保育園は、平成23年度から幼稚園型の認定こども園となりました。そしてこの4月から69名の児童が通園します。園の特色としては、仏教保育と知能教育があります。知能教育として「S・Iあそび」、「積木教室」を取り入れ、こども達一人ひとりが主体的に考える力を育てています。また2学期からはすもう大会や各種体力記録会があり、園児達は縄跳び等、練習を重ねながら力いっぱい頑張る姿が見られます。

左の写真は卒園式の練習風景です。同園の教育・保育の基本は、仏様を中心にした「まことの保育（仏教保育）」です。登園した園児は、まず最初に各部屋にある仏様にご挨拶をして1日が始まります。園児の心を落ち着かせ、静と動の心の切り替えをサポートします。